

## 05.『エルフさんのやわらかいお尻に顔をうずめながら...』

[とある深い森の中で...]

...いかがなさいましたか？

ふふつ...どうかそのように、かしこまらないで？

承知しております。

...直接、ご覧になりたいのですね？

わたくしが香りを、ひるところを...。

よろしいですよ...？

この儀式にのぞむ前に、体はすみずみまで、清めて参りましたから...♡

ひあっ！？

も、もう...旅人様ったら...♡

ふふつ、やわらかいですか？わたくしのお尻...。

ひんやりして、すべすべして...。

ああ...旅人様の手、あつたかい...。

どうぞ指先に、力を込めて...？

お尻をぎゅうって、揉みだいて。

沈み込んでゆく肉の感触を、その指先にしかと感じて...。

どうぞ♡

そのまま左右に、割りひらいて...♡

えへへ...。

見え、ますか...？

わたくしの体の、恥ずべき場所...。

お腹の中の不浄なものを、体の外へとひるための門...。

...き、きれい、でございますか？

わたくしの、その...不浄の穴が...？

そ、そのようなことは...ひあっ...！？

ああ...旅人様の吐息を、感じます...。

なんて熱くて、あらい息吹...。

嗅がれてしまって、いるのですね...？

わたくしの一番、恥ずかしいところ...。

た、旅人様...本当に、よろしいのですね？

...はい。承知、いたしました...。

あなた様の望みとあらば...わたくしは、喜んで...♡

では、出口にお鼻をあてがって...？

わたくしももう、限界です。

お腹が張って、苦し...。

つ...。

[ごぼり、と音を立てて彼女の腹が震える]

旅人様...いきますよ...？

わたくし...エルフの巫女、メナリの身をもって...。

この森に生ける命の恵み...あなた様に、ささげます...。

んつ...。

[目の前の門から吹き出した熱風が、鼻先へと吹きかけられる] (03分29秒～)

はあ...ん...♡

気持ちいい...♡

あっ...いえ、ではなく...。

旅人様、大丈夫ですか？

めまいなど、ございませんか...？

...すごく気持ちがいい、ですか？

これまで感じたこともないくらいに幸せ...でございますか？

そんなに夢中でウンウンなさって...。

本当に、わたくしの匂いがお好きなのですね...。

ふふ、うれしい...♡

どうぞ、わたくしのお尻をさすって...？

そう...揉んで...掴んで...こね回して...。

胸いっぱいに、深呼吸して....。

すうー...はあー....。

んつ...♡

〔再び鼻先に、熱いそよ風が吹きかけられる〕 (04分48秒~)

んふ...♡

ふふ...ほっぺたをお尻にすりすりなさって、かわいい....。

わたくしも、心の底から幸せ....。

旅人様。どうぞもっと、密着なさって...?

そう。後ろから抱きしめるように、両腕を回して。

やわらかい山と山の隙間に、お顔をぎゅうっと、うずめなさって....。

息苦しくは、ございませんか...?

ふふっ...旅人様のかわいいお鼻、わたくしがはさみ込んでしまいましたね...?

お鼻の穴がぴったりと、わたくしの門にあてられて....。

ああ...鼻息がしっとりと、暖かい...♡

えへへ...いかがですか?

これでもう、空気の逃げ場はありませんね...?

んつ....。

〔ごばぼぼ...と怪しい音を立てて、彼女のなめらかな下腹部が張りつめていく...〕

ふふっ...わかりましたか?

お尻の穴がひくひくって動いたの。

もうそこまで、降りて来てるんですよ...?

旅人様のお鼻の、すぐ前まで...♡

いきますよ...♡

お腹がゴロゴロするエルフの、朝の一番濃いおなら...

どうか余さず、受け取って...?

ふ、ん...♡

〔密着させた鼻孔に、熱い香りがそのまま注ぎ込まれてくる...〕 (06分45秒~)

は...あ....♡

ああ...わかりますか...?

あつい香りがお鼻をのぼって、胸をいっぱいに満たすのが...♡

その熱は、わたくしの熱。

わたくしの、お腹のなかの熱....。

すうー...はあー....。

もっと、わたくしを感じて...?

んつ...♡

〔マメとタマゴに似た恥ずかしい香りが、鼻孔を満たしていく...〕 (07分24秒~)

はあ...♡

いかがですか...?

あなた様のため、一晩たっぷりとこの腹の中で暖めました....。

マメと、タマゴのお・な・ら...♡

ああ...旅人様の熱い呼吸、お尻の穴で感じます...♡

ふふっ...くさくって、気持ちよくって、頭がクラクラしちゃいますね?

さあ...どうぞ大きく、吸って...吐いて...。

ん...♡

〔エルフの腸内で熟成されたマナが、鼻孔を埋め尽くし肺を満たしていく...〕 (08分15秒~)

ふー...♡

わたくしが食べた森の恵みが、おならとなって放たれて....。

鼻から入って、胸を満たして、痛みと疲れを和らげてゆく....。

ん...♡

〔ないまぜになった森の香りが、嗅覚と意識を急速に塗りつぶしていく...〕 (08分37秒~)

んふ...♡

エルフのマナが、森の命が、わたくしの中をめぐりめぐって、旅人様へと流れ込んでゆく....。

すうー...はあー....。

嗅けば嗅ぐほど、傷は癒やされて...心は安らかになってゆく....。

すうー...はあー....。

...旅人様?

ふふっ...眠たくなってきましたか?

いいんですよ。どうぞ安らかに、まぶたを閉じて....。  
眠たいのならば眠たいままに、ゆっくり休んでよいのです....。  
目が覚めるころにあなたの傷は、すっかり癒えているでしょう。  
悩み、苦しみ、すべて忘れて...今だけはただ....。  
安らかに....。